

わたしのおすすめ公共建築 ⑰

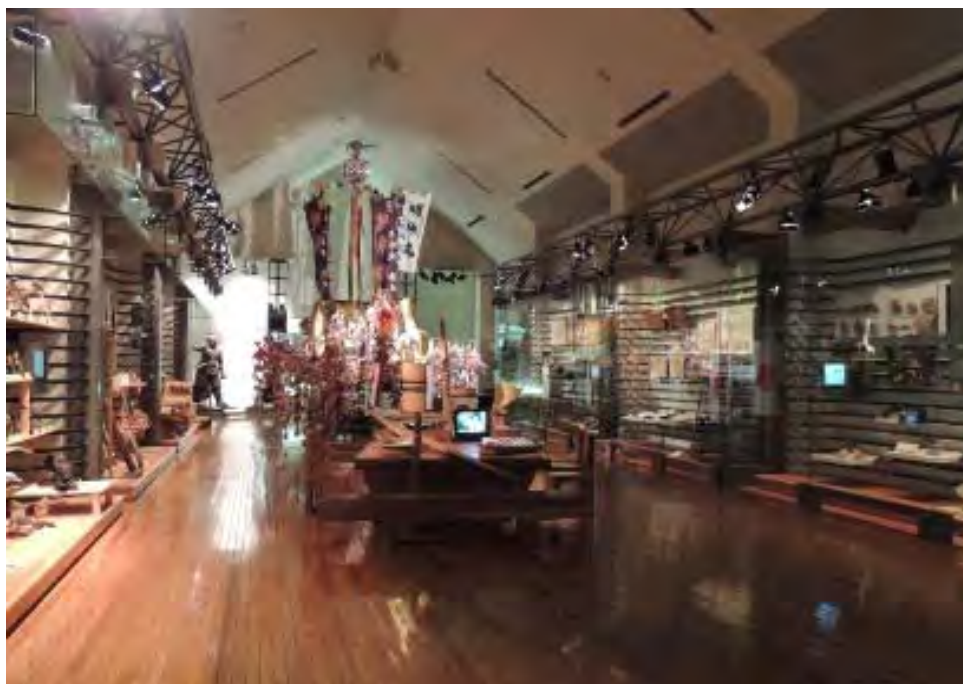
建築名称	大磯町郷土資料館
提案団体	大磯町政策総務部総務課
建築年度	1988年(昭和63年)
おすすめ箇所	エントランスホール～展示ホール～常設展示室
コメント	郷土資料館の建つ「県立大磯城山公園」は、元は三井財閥総本家の別荘地でした。当時、敷地内には国宝茶室「如庵」、付属書院をはじめ多数の建物がありましたが、特に、「城山荘」本館は木造3階(一部4階)建ての耐震住宅で、薬師寺・浅草寺はじめ全国有名古社寺の古材を用いて造られたため、別名「古材館」とも呼ばれました。往時を偲ぶ建物はほとんどありませんが、この郷土資料館は「城山荘」本館のモチーフを部分的に活かして建てられたものです。



エントランスホールには、「城山荘」本館の木造軸組模型が展示されています。



展示ホールには、西小磯の七夕行事の竹神輿も展示されています。



常設展示は、「湘南の丘陵と海」をテーマに大磯と周辺地域の資料が展示されています。

案内地図



外観写真



JR東海道線「大磯駅」下車
 徒歩:約30分(約2km)
 バス:「二宮駅行」・「国府津駅行」・「湘南大磯住宅行」
 城山公園前下車徒歩5分

住所 大磯町西小磯446-1

利用案内

- 開館時間 午前9時から午後5時まで
- ※入館は午後4時30分まで
- 休館日 月曜日・毎月1日・年末年始(12/29~1/4)
- ※ただし、月曜日が祝日又は休日にあたる場合は開館し、翌日休館
- 入館料 無料(企画展は有料の場合あり)